



金の鍵便り

2021年10月号

パラリンピック東京大会の13日間にわたるアスリートの熱戦は私たちに大きな感動を呼び起こしました。

事故や病気で障害を負った選手が懸命に泳ぐ姿や走る姿に私は人間の素晴らしさ、可能性の無限さに思わず涙しました。

どのようにして選手達は障害を乗り越えられるのでしょうか？

パラリンピックの父と呼ばれるルートヴィヒ・グットマン博士は、「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」

という言葉を残したそうです。

それと共通した私の大好きな言葉があります。

「幸福の扉が閉じると別の扉が開く。

しかし、私たちは閉じられた扉ばかり見て

開かれた扉にきづいていない」 ヘレンケラー